

# 日本学術會議主催学術フォーラム

## 自然災害国際ネットワークの構築に向けて: 固体地球科学と市民との対話

**日時:平成25年2月1日(金) 13:00~18:00**

**場所:日本学術會議講堂 定員:申込み先着300名**



### 開催趣旨

災害国日本で行われている最近の研究成果のうちから、主として固体地球科学上の近年の災害を具体的に検討し、その研究成果を防災に応用し、さらに国際的な貢献をするにはどうあるべきかを討論する。

中でも今回は、地震、津波、火山、地すべり・崩壊の4点に絞り、その学問の到達度を確実性と不確定性の検討とともに、時間軸の中でとらえ、災害の生じる条件、頻度、防災への取り組むべき姿、国際社会に於ける情報ネットワーキングの必要性などについて、参加者と広く議論し、共有することとしたい。

### 次第

**13:00~13:05 開会挨拶** 北里 洋 (日本学術會議会員、独立行政法人海洋研究開発機構・IUGS分科会委員長)

**13:05~13:10 問題提起** 小川 勇二郎 (日本学術會議特任連携会員、IUGS-EC理事)

**13:10~13:40 國際統合自然災害研究(IRDR)と政策上の問題点**

竹内 邦良 (日本学術會議特任連携会員、IRDR委員、独立行政法人工木研究所)  
水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM))

**13:40~14:00 地震と古地震、津波**

佐竹 健治 (日本学術會議連携会員、東京大学地震研究所教授)

**14:00~14:20 津波堆積物**

後藤 和久 (東北大学災害科学国際研究所准教授)

**14:20~14:40 津波工学**

佐藤 慎司 (東京大学大学院工学研究科基盤工学教授)

**14:40~14:50 休憩**

**14:50~15:10 活断層**

田 中栄吉 (連携会員、独立行政法人産業技術総合研究所理事; G-EVER委員長)

**15:10~15:30 地殻変動**

池田 安隆 (東京大学大学院地球惑星科学専攻教授)

**15:30~15:50 地すべり**

千木良 雅弘 (連携会員、京都大学防災研究所教授)

**15:50~16:10 海底地すべり**

川村 喜一郎 (山口大学大学院理工学研究科自然科学基盤系学域准教授)

**16:10~16:30 火山災害**

高橋 正樹 (日本大学文理学部教授地球システム科学科教授)

**16:30~16:50 火山災害とG-EVER**

宝田 晋治 (産業技術総合研究所 地質情報研究部門; G-EVER幹事)

**16:50~17:00 休憩**

**17:00~17:55 パネル討論**

**17:55~18:00 閉会挨拶**

北里 洋(前出)

コーディネーター:

北里 洋 (前出) 佐竹 健治 (前出) 松本 良 (日本学術會議連携会員、明治大学農学研究科特任教授)

千木良 雅弘 (前出) 小川 勇二郎 (前出)

後援: 日本地球惑星科学連合、日本地質学会、海洋研究開発機構、防災科学技術研究所

### 日本学術會議案内図



**申込先:日本学術會議事務局企画課学術フォーラム担当**

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL:03-3403-6295 FAX:03-3403-1260

申込みフォーム:(<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>)